



第31期（2015年12月期） 決算補足説明資料

2016年2月4日
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

略式記号について

1 4 . 1 2 / 4 Q	2014年 12 月期 第 4 四半期期間
1 4 . 1 2	2014年 12 月期 通期
1 5 . 1 2 / 1 H	2015年 12 月期 第 2 四半期累計期間
1 5 . 1 2 / 4 Q	2015年 12 月期 第 4 四半期期間
1 5 . 1 2	2015年 12 月期 通期
1 6 . 1 2 E / 1 H	2016年 12 月期 第 2 四半期累計期間予想
1 6 . 1 2 E	2016年 12 月期 通期予想
調整後 1 3 . 1 2	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

- ※ 当社は2013年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2013年12月期は、2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間となっております。

◆ 2015年12月期 決算の概況

[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因（前年同期比較）	6
[連結]営業利益の増減要因（計画比較）	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因（前年同期比較）	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因（前年同期比較）	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22
[連結]当期の配当の状況	24

◆ 2016年12月期 業績予想

[連結]来期の業績予想	26
[連結]来期の配当予想	27

◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております。



2015年12月期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

〔連結〕業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	14.12			15.12		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	15,518	15,396	+ 121	100.8%	16,732	▲ 1,213	92.7%
営業利益	851	810	+ 41	105.1%	850	+ 1	100.2%
営業利益率	5.5%	5.3%	+ 0.2P		5.1%	+ 0.4P	
経常利益	1,003	974	+ 28	102.9%	980	+ 23	102.4%
経常利益率	6.5%	6.3%	+ 0.2P		5.9%	+ 0.6P	
当期純利益	463	596	▲ 132	77.7%	506	▲ 42	91.6%
当期純利益率	3.0%	3.9%	▲ 0.9P		3.0%	+ 0.0P	

業績の概況

※P：ポイント

国内売上高は、前期において可視化分野で教育機関から大型案件の受注があったこと及びEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階であったこと等による減収要因がありました。

しかし、主力のマルチフィジックス解析ツール及び照明設計解析ソフトウェアが堅調に推移したことに加え、自動車業界向けエンジニアリングサービス、イノベーション支援ソリューション、ITソリューションサービス事業が好調に推移したことにより、前年同期に比べ横ばい推移となりました。

海外売上高は、米国の開発子会社が前期において大型案件があったため前年同期を下回りましたが、中国の販売子会社やカナダとベルギーの開発子会社が好調に推移したことに加え、円安による為替の影響もあったため、前年同期に比べ堅調に推移いたしました。

その結果、連結売上高は前年同期に比べ若干の増収推移となりました。

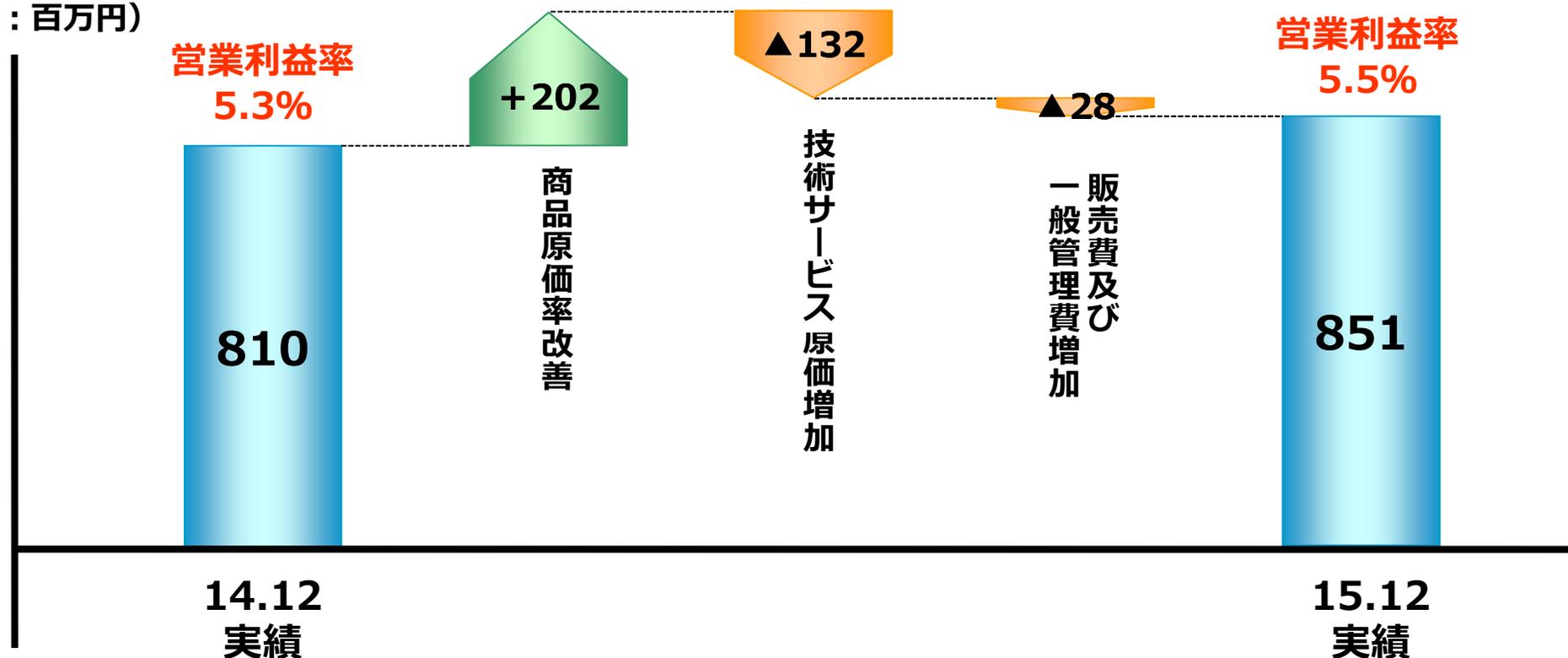
利益面では、円安による為替の影響がありましたが、商品原価率の改善等により、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回りました。

しかし、税制改正に伴う法人税率の変更による繰延税金資産の取崩しの影響等により、当期純利益は前年同期を下回りました。

[連結] 営業利益の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



前期比増減要因

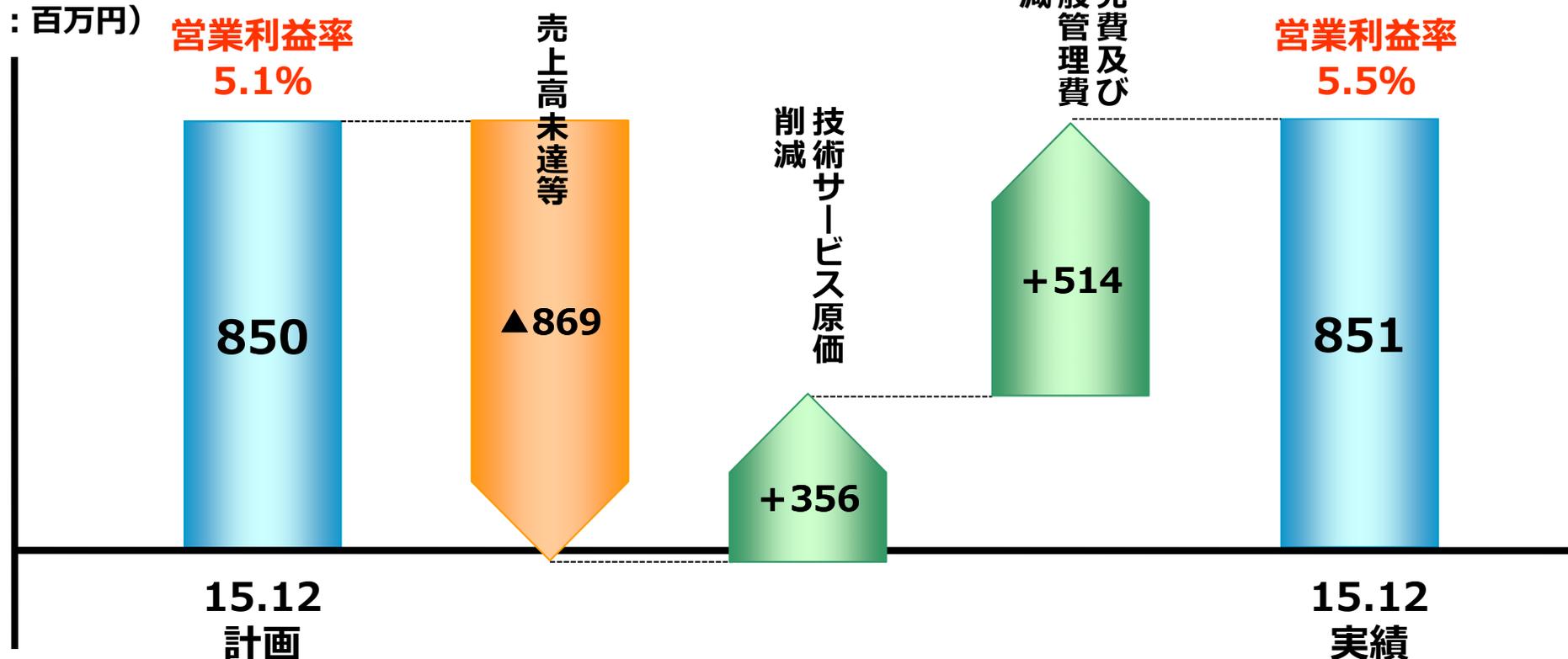
商品利益は、前期に米国の開発子会社において大型案件があったこと及びEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階であったことによる減益要因がありました。

しかし、前期に比べ原価率の高い大型案件等がなかったことによる商品原価率の改善及び自動車業界向けエンジニアリングサービス、イノベーション支援ソリューション、ITソリューションサービス事業や中国・カナダ・ベルギーの海外子会社が好調だったことに加え、円安による為替の影響もあったため、前同差202百万円の増益となっております。

営業利益は、円安による為替の影響等による経費の増加があったため、前同差41百万円の増益となっております。

[連結] 営業利益の増減要因 (計画比較)

(単位：百万円)



計画比増減要因

商品利益は、主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売やEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階であったことにより売上が未達となったため、計画に比べて869百万円と大きく減益となっております。

営業利益は、採用計画差異等による人件費の減少や為替計画差異及び経費削減等による経費の減少により、ほぼ計画並みとなっております。

[連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位：百万円)

	14.12	15.12	前期末差
流動資産	14,503	14,857	354
現金及び預金	3,343	2,755	▲ 587 ①
受取手形及び売掛金	3,520	3,701	180
有価証券	3,010	3,800	789 ②
短期貸付金	3,020	3,011	▲ 9
その他	1,608	1,588	▲ 19
固定資産	5,362	4,028	▲ 1,334
有形固定資産	339	320	▲ 19
無形固定資産	3,466	2,854	▲ 611 ③
投資その他の資産	1,556	853	▲ 703 ②
資産合計	19,865	18,885	▲ 979
流動負債	4,733	4,175	▲ 558
買掛金	1,029	1,027	▲ 2
未払法人税等	430	132	▲ 297
前受金	2,034	1,996	▲ 38
賞与引当金	447	282	▲ 164
その他	790	735	▲ 55
固定負債	913	1,150	236
退職給付に係る負債	845	1,090	244
その他	68	60	▲ 7
負債合計	5,647	5,325	▲ 321
純資産合計	14,218	13,560	▲ 658 ④
負債純資産合計	19,865	18,885	▲ 979

前期末差増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲587百万円）
法人税等の支払額▲710百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 789百万円）
投資その他の資産（前期末差 ▲703百万円）
長期から短期への振替800百万円により増加しております。
- ③のれん（前期末差 ▲824百万円）
償却▲376百万円及び為替換算▲445百万円により減少しております。
- ④純資産合計（前期末差 ▲658百万円）
剰余金の配当▲472百万円及び為替換算調整勘定の減少▲506百万円により減少しております。

〔連結〕キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位：百万円)

	14.12	15.12	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101	487	▲ 613
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 747	1,470	2,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 337	▲ 481	▲ 143
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	▲ 52	▲ 98
現金及び現金同等物の増減額	62	1,424	1,361
現金及び現金同等物の期首残高	4,042	4,239	197
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	135	—	▲ 135
現金及び現金同等物の期末残高	4,239	5,664	1,424

前年同期比増減要因

営業活動によるキャッシュ・フロー

債権債務の増減等ありますが、主に法人税等の支払額の増加によりマイナスとなっております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に資金運用のための投資有価証券の取得による支出が減少したことによりプラスとなっております。

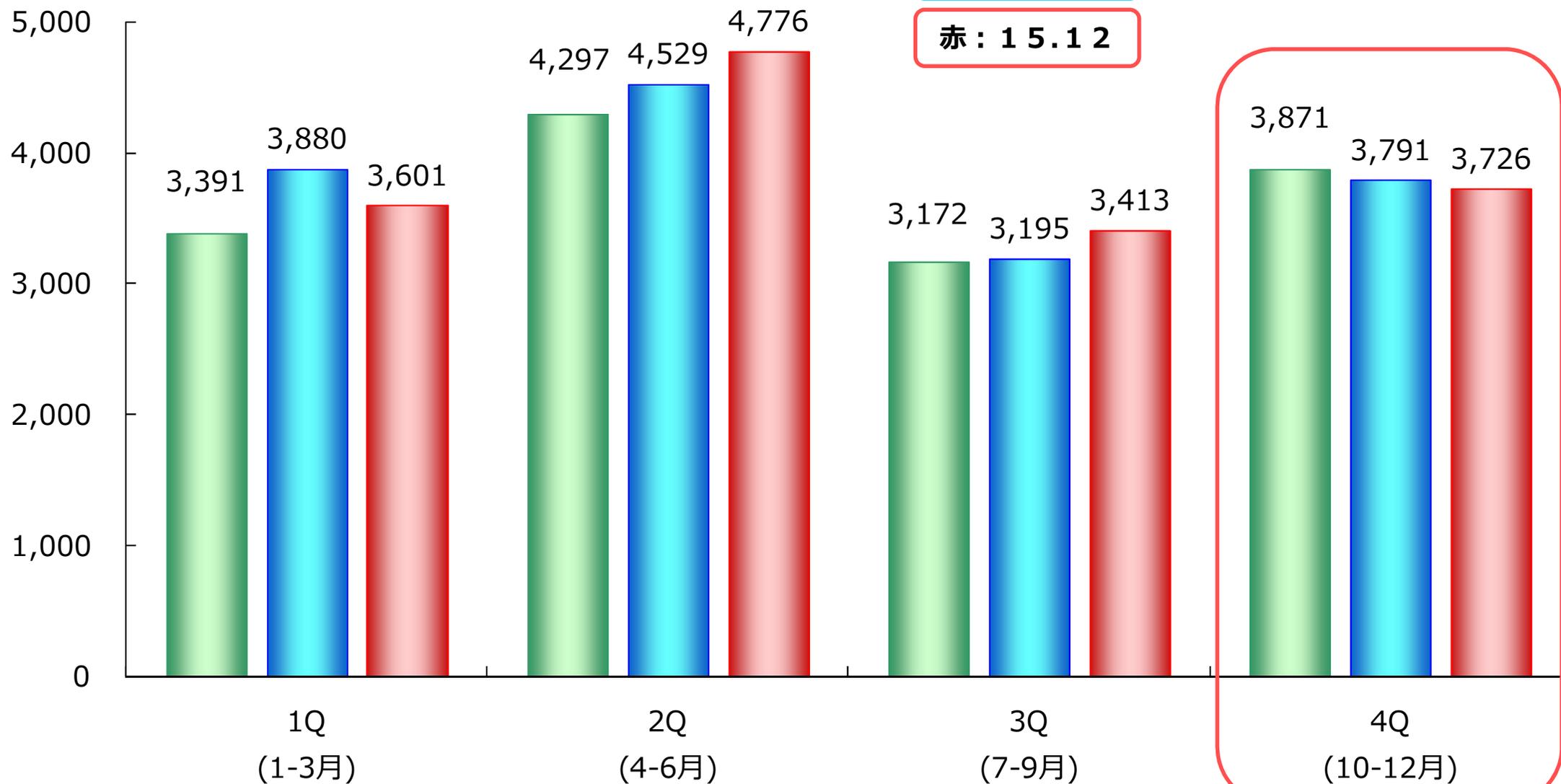
財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払額が増加したことによりマイナスとなっております。

【連結】 四半期売上高の推移

CYBERNET

(単位：百万円)



【連結】セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	14.12	15.12		
	実績	実績	前同差	前同比
売上高 合計	15,396	15,518	+ 121	100.8%
CAEソリューションサービス事業	13,839	13,699	▲ 140	99.0%
ITソリューションサービス事業	1,557	1,820	+ 263	116.9%
調整額	—	▲ 1	▲ 1	—
セグメント利益（営業利益） 合計	810	851	+ 41	105.1%
CAEソリューションサービス事業	2,082	2,017	▲ 65	96.9%
ITソリューションサービス事業	127	210	+ 83	165.2%
調整額	▲ 1,399	▲ 1,376	+ 23	98.3%

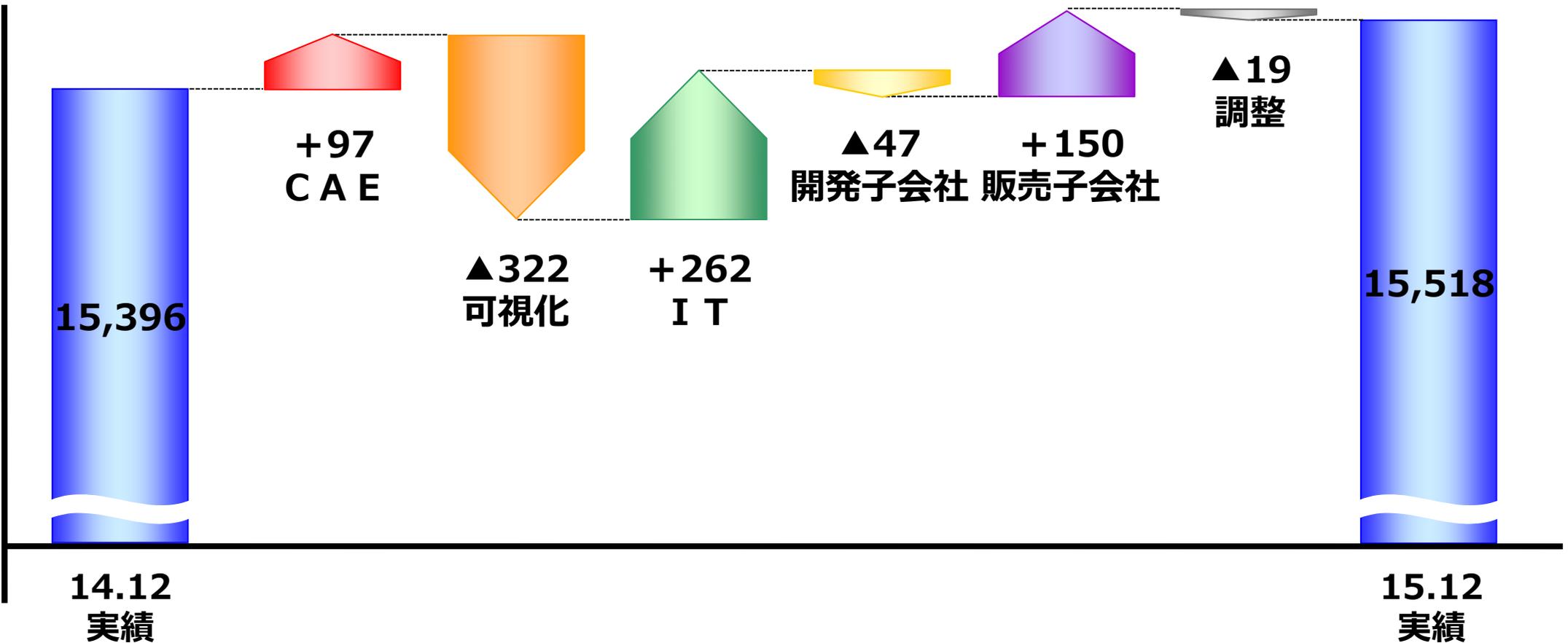
注) 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

注) CAEソリューションサービス事業はCAE、可視化、開発子会社、販売子会社の合計です。

[連結] 事業別売上高の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

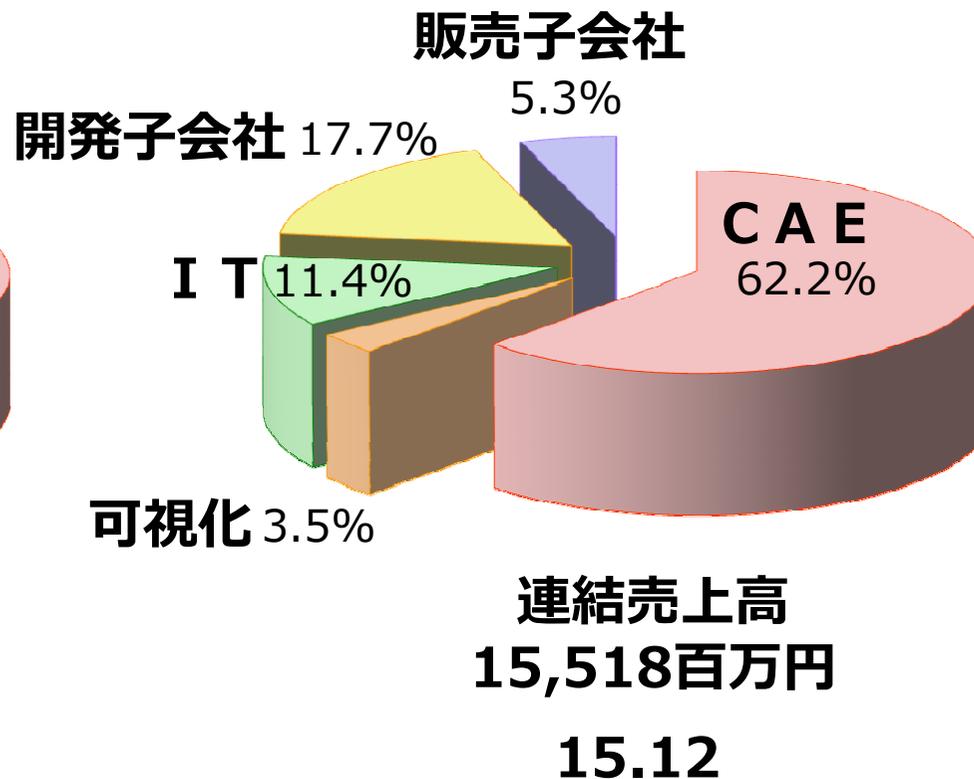
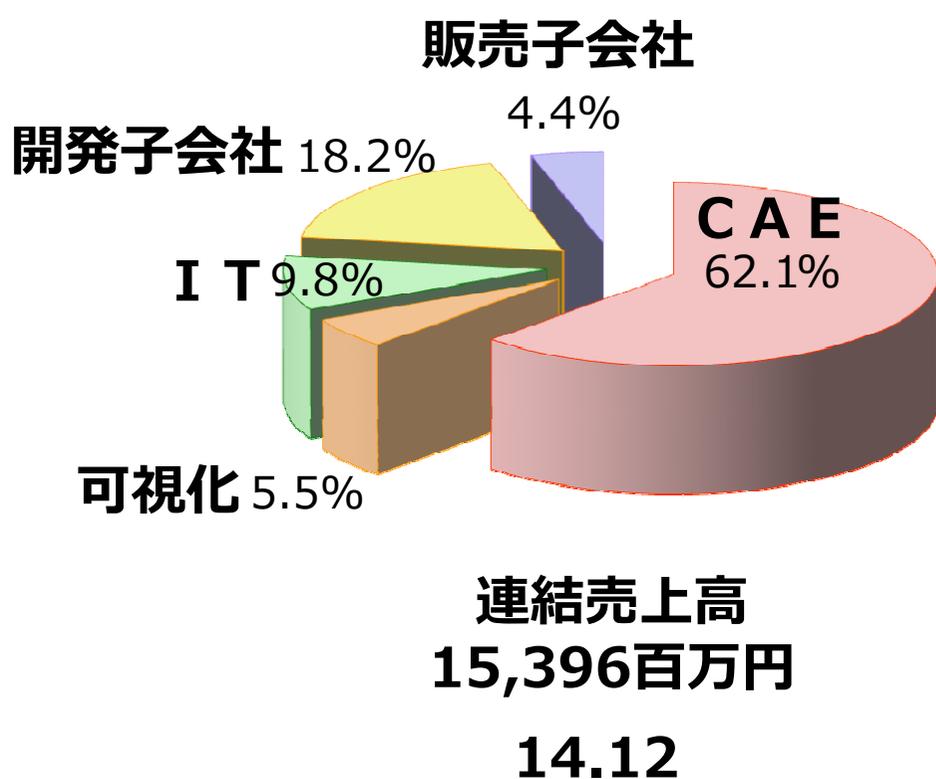
(単位：百万円)



注) 各事業の分類は以下となります。

- ・CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化分野除く)
- ・可視化とは、個別における可視化分野となります。
- ・ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社 3社の合計数値となります。
- ・販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社 3社の合計数値となります。
- ・調整とは、連結調整となります。

〔連結〕 事業別売上高の構成比

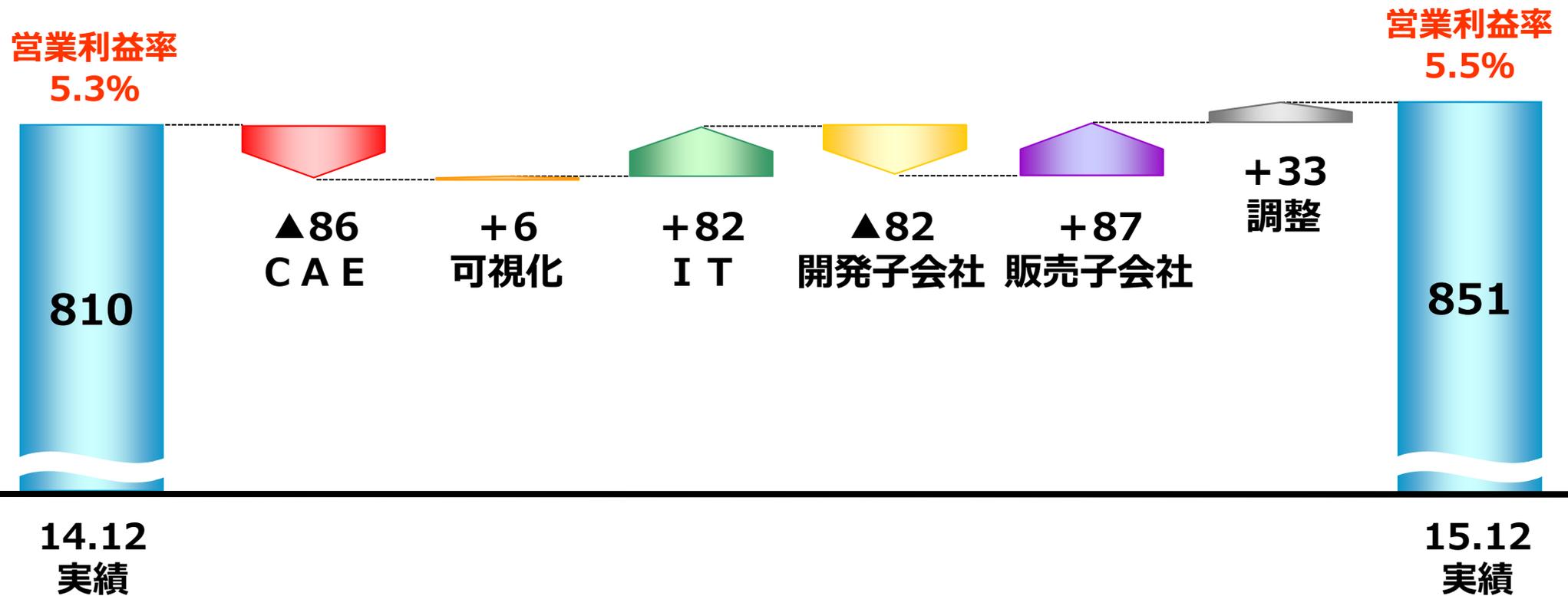


注) 上記数値は、連結調整を除いた構成比です。
各事業の分類は前ページと同様となります。

[連結] 事業別営業利益の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

【個別】ソリューション別の概況

C A Eソリューションサービス	
M C A E 分野	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、電機業界向けに加え、研究機関や情報・通信メーカーでの大型案件の受注により堅調に推移。また、保守契約の更新も、民間企業の研究開発投資に支えられ、電機業界や機械製造業界からの受注が伸びたため、堅調に推移。</p> <p>3次元ダイレクトモデラーの保守契約の更新は、3Dプリンター関連やリバースエンジニアリングといった用途で好調に推移。</p>
光学設計分野	<p>光学設計評価プログラムの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、車載向けのニーズはあるものの、デジカメや携帯電話向けのカメラ開発市場が伸び悩んでいることにより軟調に推移。</p> <p>主力の照明設計解析ソフトウェアの新規ライセンス販売は、一般照明及び自動車関連メーカーでの採用が進んだことにより好調に推移し、保守契約の更新は、電機業界を中心に製造業の各分野において堅調に推移。</p> <p>フォトニクスデバイスソフトウェアの保守契約の更新は、ユーザーの利用が活性化しており好調に推移。</p> <p>前期より販売を開始した自動車用照明設計プラットフォームの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、好調に推移。</p>
E D A 分野	<p>前期の取扱商品の変更に伴い新たに販売を開始した電子回路基板設計ソリューションは、立ち上げ段階のため低調に推移。</p> <p>プリント基板（PCB）エンジニアリングサービスは、既存取引顧客からの受注が低調に推移。</p>
M B D 分野	<p>モデルベース開発エンジニアリングサービスは、自動車関連メーカーを中心にモデルベース開発への投資意欲が高く、ADAS（※）をはじめ自動運転技術及び高度なモデリングに対するエンジニアリングサービスへの要望が引き続き増加しており、好調に推移。</p> <p>当社グループ製品であるシステムレベルモデリング&シミュレーションの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、自動車関連メーカーをはじめ電機・機械メーカーにおいても、モデルベース開発やシステムの自動化・最適化などへの開発環境構築検討が進んでおり、好調に推移。</p>

（※）ADAS（Advanced Driving Assistant System）：運転手の支援や運転技術の補完、さらに運転の代理までも行う、先進運転支援システムのこと

【個別】ソリューション別の概況

CAEソリューションサービス	
ビッグデータ分野	イノベーション支援ソリューションの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、自動車業界向けなど大型案件を受注し、好調に推移。 ビッグデータ可視化エンジン及び特許調査／戦略立案サービスは、新規事業として取り組み中。
テスト・計測分野	当社が開発したFPD（Flat Panel Display）自動検査システムは、中国を中心とするフラットパネルメーカーの有機ELディスプレイ検査・調整用途の需要を背景に、好調に推移。
その他分野	当社グループ製品である3次元公差マネジメントツール及び最適設計支援ツールの新規ライセンス販売は、大型案件の受注により好調に推移し、保守契約の更新も、好調に推移。 CAE技術教育ビジネスは、製造業における人材育成ニーズの高まりを受け、各社教育計画の一環として採用されるケースが増加したことにより、好調に推移。
可視化分野	AR（Augmented Reality：拡張現実）分野の受託及びポータルサービスが好調に推移。また、医療可視化分野でも、放射線治療計画装置関連の開発を中心としたサービスが好調に推移。 しかし、前期の大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件をカバーするには至らず。
ITソリューションサービス	
主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションの新規ライセンス販売は、大型案件の減少により低調に推移したが、更新契約は、月額課金モデル、OEMモデル及びクラウドサービスの成長により好調に推移。 ディスク暗号化ソフトウェア及びIT資産管理ソフトウェアの新規ライセンス販売及び更新契約は、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、好調に推移。 クラウドサービスは、電機業界を中心に好調に推移。	

【個別】 応用分野別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位：百万円)

	14.12/4Q		15.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,184	44.6%	1,263	45.0%	+ 78	106.7%
光学設計	380	14.3%	342	12.2%	▲ 37	90.0%
EDA	193	7.3%	150	5.3%	▲ 43	77.6%
MBD	219	8.3%	272	9.7%	+ 53	124.4%
ビッグデータ	47	1.8%	75	2.7%	+ 27	158.6%
テスト・計測	10	0.4%	22	0.8%	+ 11	215.7%
その他	69	2.6%	97	3.5%	+ 27	140.0%
可視化	116	4.4%	112	4.0%	▲ 3	96.6%
ITソリューション	432	16.3%	473	16.8%	+ 40	109.4%
合計	2,654	100.0%	2,809	100.0%	+ 155	105.8%

【個別】 応用分野別売上高

CYBERNET

<通期>

(単位：百万円)

	14.12		15.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	5,306	43.2%	5,462	44.3%	+ 156	102.9%
光学設計	2,482	20.2%	2,530	20.5%	+ 48	102.0%
EDA	902	7.3%	391	3.2%	▲ 510	43.4%
MBD	611	5.0%	734	6.0%	+ 122	120.1%
ビッグデータ	223	1.8%	343	2.8%	+ 119	153.6%
テスト・計測	59	0.5%	141	1.1%	+ 81	238.0%
その他	271	2.2%	350	2.8%	+ 78	128.9%
可視化	880	7.2%	557	4.5%	▲ 322	63.4%
ITソリューション	1,557	12.7%	1,819	14.8%	+ 262	116.9%
合計	12,294	100.0%	12,331	100.0%	+ 37	100.3%

〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜第4四半期＞

(単位：百万円)

	14.12/4Q		15.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	934	35.2%	911	32.4%	▲ 22	97.5%
機械・精密機器	375	14.1%	377	13.4%	+ 2	100.6%
輸送用機器	395	14.9%	481	17.1%	+ 85	121.7%
その他製造業	279	10.5%	336	12.0%	+ 56	120.2%
教育・官公庁	208	7.8%	255	9.1%	+ 47	122.7%
情報・通信	136	5.1%	166	5.9%	+ 30	122.5%
その他	324	12.2%	280	10.0%	▲ 44	86.4%
合計	2,654	100.0%	2,809	100.0%	+ 155	105.8%

〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜通期＞

(単位：百万円)

	14.12		15.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	4,217	34.3%	4,249	34.5%	+ 32	100.8%
機械・精密機器	1,873	15.2%	1,895	15.4%	+ 21	101.2%
輸送用機器	1,512	12.3%	1,572	12.7%	+ 59	103.9%
その他製造業	1,311	10.7%	1,343	10.9%	+ 32	102.4%
教育・官公庁	1,465	11.9%	1,146	9.3%	▲ 318	78.2%
情報・通信	555	4.5%	750	6.1%	+ 195	135.1%
その他	1,357	11.0%	1,373	11.1%	+ 15	101.2%
合計	12,294	100.0%	12,331	100.0%	+ 37	100.3%

【個別】ライセンス契約別売上高

CYBERNET

＜第4四半期＞

(単位：百万円)

	14.12/4Q		15.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,171	51.0%	1,106	46.7%	▲ 64	94.5%
更新契約	1,125	49.0%	1,263	53.3%	+ 137	112.2%
合計	2,296	100.0%	2,370	100.0%	+ 73	103.2%

＜通期＞

(単位：百万円)

	14.12		15.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	4,406	40.5%	4,271	38.7%	▲ 134	96.9%
更新契約	6,465	59.5%	6,780	61.3%	+ 314	104.9%
合計	10,872	100.0%	11,051	100.0%	+ 179	101.6%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

〔連結〕 海外子会社の状況（開発子会社）

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	102.0%	116.4%	69.1%
売上前年比 (円ベース)	102.8%	112.7%	79.9%
状況	STEM（※）コンピューティング・プラットフォームの販売が北米及びアジアで好調に推移。	最適設計支援ツールの販売がアジアにおいて好調に推移。	前期の大型案件を除き、3次元公差マネジメントツール及び幾何公差設計ツールの販売がアジアにおいて好調に推移。

（※）STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics（科学、技術、工学、数学）という総合的な分野の総称

[連結] 海外子会社の状況（販売子会社）

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	138.4%	87.0%
売上前年比 (円ベース)	156.7%	95.9%
状況	取扱ソフトウェア全般において好調に推移し、また、当社開発の光学測定器ビジネスも順調に推移。	3次元公差マネジメントツールは順調に推移したが、主力商品である光学系ソフトウェアの販売が景気の影響で伸び悩み、低調に推移。

〔連結〕 当期の配当の状況

CYBERNET

(単位：円)

	14.12	15.12		
	合計	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当額	13.80	6.90	6.90	13.80
(普通配当)	11.20	6.90	6.90	13.80
(記念配当)	2.60	—	—	—
1株当たり当期純利益	19.14	9.65	—	14.87
配当性向	72.1%	—	—	92.8%
(参考) 純資産配当率	3.1%	—	—	3.1%

14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。

2016年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

〔連結〕 来期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	16.12E/1H	15.12/1H			16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比	予想	実績	前同差	前同比
売上高	8,842	8,378	+463	105.5%	16,800	15,518	+1,281	108.3%
営業利益	595	628	▲33	94.7%	950	851	+98	111.5%
営業利益率	6.7%	7.5%	▲0.8P		5.7%	5.5%	+0.2P	
経常利益	644	672	▲28	95.7%	1,048	1,003	+44	104.5%
経常利益率	7.3%	8.0%	▲0.7P		6.2%	6.5%	▲0.3P	
当期純利益	300	300	0	99.8%	461	463	▲2	99.5%
当期純利益率	3.4%	3.6%	▲0.2P		2.7%	3.0%	▲0.3P	

業績予想について

※P：ポイント

16.12Eの期初業績予想における為替レートは125円/USDを想定したものであります。

〔連結〕 来期の配当予想

CYBERNET

(単位：円)

	15.12	16.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	予想	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.50	6.50	13.00
1株当たり当期純利益	14.87	9.63	—	14.80
配当性向	92.8%	—	—	87.8%
(参考) 純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定しております。

- ・配当性向50%
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況（2015年12月31日現在）

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社（東証第一部 4312）
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 575名
個別 352名
- ◆ 事業内容 : C A Eソリューション及び I Tソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）
Noesis Solutions NV（ベルギー）
CYBERNET SYSTEMS（SHANGHAI）CO.,LTD.（中国）
Sigmetrix, L.L.C.（米国）
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC.（特定目的会社）
Cybernet Systems Holdings U.S. Inc.（特定目的会社）
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.（台湾）

C A Eとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

【個別】業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	14.12			15.12		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	12,331	12,294	+ 37	100.3%	13,222	▲ 890	93.3%
営業利益	1,163	1,136	+ 27	102.4%	1,278	▲ 114	91.0%
営業利益率	9.4%	9.2%	+ 0.2P		9.7%	▲ 0.3P	
経常利益	1,197	1,192	+ 5	100.4%	1,314	▲ 116	91.2%
経常利益率	9.7%	9.7%	+ 0.0P		9.9%	▲ 0.2P	
当期純利益	665	535	+ 129	124.2%	843	▲ 177	78.9%
当期純利益率	5.4%	4.4%	+ 1.0P		6.4%	▲ 1.0P	

※P：ポイント

【個別】 来期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	16.12E/1H	15.12/1H			16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比	予想	実績	前同差	前同比
売上高	7,224	6,942	+281	104.1%	13,155	12,331	+823	106.7%
営業利益	865	873	▲8	99.0%	1,197	1,163	+33	102.9%
営業利益率	12.0%	12.6%	▲0.6P		9.1%	9.4%	▲0.3P	
経常利益	865	876	▲11	98.7%	1,197	1,197	+0	99.9%
経常利益率	12.0%	12.6%	▲0.6P		9.1%	9.7%	▲0.6P	
当期純利益	494	491	2	100.4%	672	665	+6	101.0%
当期純利益率	6.8%	7.1%	▲0.3P		5.1%	5.4%	▲0.3P	

業績予想について

※P：ポイント

16.12Eの期初業績予想における為替レートは125円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住 所 〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
T E L 03-5297-3066
F A X 03-5297-3609
E - M A I L irquery@cybernet.co.jp
W e b サイト <http://www.cybernet.jp/>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET